

「集まれ！荒神っ子クラブ」が、開催できました。

2年ぶりの開催となった彦根市荒神山自然の家自主事業である「集まれ！荒神っ子クラブ」を7月4日（日曜日）に催しました。当日は、小学校4年生から6年生までの9人の子どもたちが集まってくれました。例年よりも少人数でしたが、その分目が行き届き充実した活動を行うことができました。内容は、アイテムゲット散策、七宝焼き体験、最後におやつを作って解散という流れでした。梅雨のまっただ中ということで前日まで、天候が不安定で雨を心配していました。当日も午前中はなんだかあやしい雲ゆきでした。天候にはあまり恵まれませんでしたでしたが、無事けがもなく楽しい1日を共有しました。

はじめのつどいは、班ごとに集まって、ボランティアスタッフのリーダーが中心となって自己紹介から始まりました。その後、班の活動として名札作りを行いました。各自が思い思いの色とりどりの名札を作り、最初緊張していた子たちも和やかな雰囲気次第に笑顔が増えていきました。

次の活動は、アイテムゲット散策です。クラフト棟付近に小箱が10箱準備されています。その中には、透明のカードが隠されておりそのカードをしおりの地図に重ねるとマークがしるされた場所がわかります。その場所に向かい問題を解決するとアイテムカードがもらえ、午後の七宝焼きのアイテムがそろうという手順になっています。ところが



準備された10箱のうち7箱ははずれ。意気込んで探しに行ったもののなかなか地図が手に入らずにそこら中をうろろろする羽目になった班もあるかと思えば、さっと見つけてスタートという班もあり千差万別で楽しく始まりました。出発する前には降っていた雨もあかり、天気を味方にいざスタート。地図をゲットするために右往左往したものの順位制ではないので、ゆったりと探せたことがよかったですと思います。マークのポイントには、ボランティアスタッフと所員が配置され、景色や自然観察の観点から出題された問題に、子ども達も頭をひねっていたのが印象的でした。

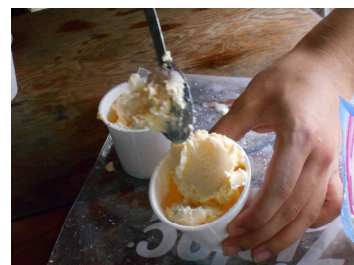
昼食は、食堂食です。本来なら野外クッキングで、ダッチオーブンや飯ごうなどで食材を焼いたりして、こおぼしい匂いでテンションアップ、といきたいところでしたが、昨今の社会情勢の中ではさすがに、実施は難しいという判断に至りました。後の感想にも、やはりみんな野外炊事を希望する意見もあり、今後十分な検討が必要であると、スタッフミーティングで話題として方向性を話し合いました。

その後、クラフト棟に移動をして、七宝焼き体験です。かつて子どもセンターにあった釜を自然の家に譲り受け今回の体験に役立てることができました。銅板に釉薬で模

様を描いたり、フリットという飾りをのせて、800度程度の温度で3分ほど、電気窯で焼き上げます。窯から出してしばらく冷ますと色が落ち着きます。金ブラシで黒い部分をおとし、最後にボンドでブローチのピンをつけて完成です。世界に1つのオンリーワンの作品。どれも感心するばかりのできばえに、作った本人もなかなか満足げ。いいお土産となりました。



最後の活動として、バニラアイスを作りました。一言で作るといってもなかなかこれが大変な作業。牛乳、生クリーム、卵黄、砂糖をジップロックに入れ漏れないようにして密閉。ここでしっかりと空気を抜いておくことがポイントであることはスタッフは前回の研修会で確認済み。それを大きな袋に詰め、食堂の製氷機で作った大量の氷を入れてタオルを巻き、10分間シャカシャカと振れば完成ということではじめたものの、振り続けることの大変なこと大変なこと。仲間みんなでお互いに時間や回数を決め振り続けてようやく完成。疲れたものの、できあがったバニラアイスを眺めてそれぞれにんまり。一口頬張ってさらににんまり。ひとときの清涼剤となりました。



最後に、終わりのつどいをして荒神山自然の家の幸せスポットの小山で記念撮影をし、解散しました。

早速、子どもたちは、保護者の方に今日の活動を笑顔で話している姿が見られました。

なお、この事業を行うために、6月27日(日)に支援スタッフに向けた事前研修会を開きました。散策のルートを確認し、ミスルートはどちらの方角か、当日小雨などの天候下では、どうすれば安全が確保できるのかなどじっくりと観察した活動ができました。また、七宝焼き体験も作業手順の確認ができました。さらに、おやつのアイスクリューム作りでは、作製上のポイントなども試行錯誤をしながらも堅実に作業をこなしていきました。事前研修会をすることによりスタッフも当日の流れや内容が把握でき、当日はゆとりを持ち子どもたちに関わることができていたと感じます。



小学1年から3年生対象の「キッズ荒神っ子クラブ」を、11月に行う予定です。子どもたちが、荒神山自然の家に来て、たくさんの友だちと楽しい時間が過ごせるように、楽しい企画を考えてお待ちしております。